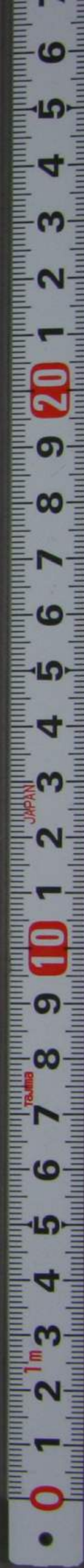


租稅改正見込書類

3361



イ14
A1839

託業於民固家產論 庚午有藩廳(建言)者

業ヲ民ニ託シ家產ヲ固定スルハ則チ人々自ラ遠大ノ慮

ヲ入テ遠夫ノ慮ヲセム則チ富強ノ基自ラ立ツ是故ニ管子

曰聖人ノ聖人タル所以ノ者ハ善ク民ニ分ラセテ唯聖人善

ク業ヲ民ニ託スルヲ為スト當今西洋諸國ノ富強ヲ致

ス所以ノ者ハ皆無道ニ由リナリ苟モ此道ニ及キ由家產ヲ

固シ業ヲ託スルヲナサレハ則チ人々莫ク業ノ念ヲ生シ

絶テ遠大ノ慮ヲナサス苟モ時ノ適ヲ取リ朝夕ヲ

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈

大藏省

計ラサレ基シキ至ル故ニ自民其產ヲ懷ム八國ノ
危ナリト古ヨリ此ノ如ク國ノ富強ナル未ダ之レアラス
且ツ富強ヲ致ス要ニ務ム人ノ由リ生ラス者ヲ省キ自
生ラ當ラマシムル急ナル其ノ人ノ由リ生ラ成ス也謂
所ノ者ハ何ゾ祿ヲ取リ安坐シテ生ラス者モ是
ナリ未ダ祿ヲ以テ生ラス者多クル國ノ貧ナル者ハ
アラサルナリ且モ又モ當時ノ削ル祿ニ平ル祿等論紛々トシテ絶
ハス今モ物ニ之ヲ考フルニモ又モ削ル祿ノ論ハ人々之レ暴

棄ル念ヲ生セトル大ナル者ナリ故ニ更ニ始メ際ニ當リ一度
之ヲナスヘシト居ル再ビ之ヲナスヘラス再ビ之ヲセハ則チ
人々ノ機後ヲ恐シ終ニ其足ルニ至ルヲ思フスレ其ノ削ルヲ
ルノ限リナキヲ見レハ則チ必ズ後世ノ慮ヲ廢シ自暴
自棄苟モ一時ノ適ヲ取リ放肆邪侈為サレナキ
至ラレトス慎マルヘケヤ且平祿ノ説モ物ニ云フ亦行フ
可ス何トナレハ則チ物ノ不齋ハ物ノ情ナリ人ノ貧富モ
亦抑故ニ貧富自我ニ任ズレ富ヲ致ス者ハ政

府ヨリ毫毛之ヲ妨ケス十分富ヲ致ス得セムヘシ民ノ
富ハ則チ國ハ富ナリ故ニ白王者ハ民積ムト若シ其貪
者ヲ害スルヲ恐ルレバ則チ教ヲ設ケ仁心ヲ鼓舞シ富者ヲ
シテ貧者ヲ救フノ意ヲ起サシムシ抑レ後貧院等ノ制
ヲ立ツレハ富多害ヲナカルノミニアラス實ニ貧者ヲシテ富者ノ
蔭ニ由ラシム是豈羅也諸國ノ治ヲ致シ貧富各其所
得以テ富强ヲ致ス所ノ者ナリ平祿ノ説ハ之ニ交ス
是其用井ルヘカラストニテ所ノ者ナリ抑レハ則チ世數

弊ヲ施チ家産ヲ固定スル策ヲ講ゴサルヘカラス今
其祿ニ代フルニ産ヲ以テシ業ヲ設シ自ラ生ラ計リ造
大ノ慮ヲナサシムル策ヲ立テ其ノ制ヲ左ニ掲リ
以下之ヲ思ス

賦稅ヲ輕クシテ論ス 庚午 有藩廳 建言セシ者

民ハ國ノ本ナリ 本國ケレバ 則チ國安シ 故曰民ヲ保テ王

タラハ之ヲ能ク御シテナド 是故ニ能ク其民ヲ保テハ 國ト是レ

必ス強シ 其民ヲ保ツテ能ハサレバ 大國ト是レ 必ス弱シ 今ヤ

皇國ノ民ヲ以テ之ヲ英不等ノ民ニ較スレバ 則チ孰カ送シテ

孰カ劣スル 是實ニ知易シ 苟モ彼送シテ我劣スルカ 彼ノ

安送スル所以者ヲ求メ之ヲ我カ民ニ施サル可ラス 是一日モ

緩ラス可ラス 若シ之ヲ緩マセバ 則チ彼ノ西班牙ノ乱 寒心

此賦歛トハ
田租ノ意ナリ

ラスヘシ孟子曰淵を為ニ魚ヲ敲者ハ懶ナリ叢を為ニ爵
ヲ敲者ハ鷓ナリ湯武を為ニ民ヲ敲者ハ第ト紂トナリ
是故ニ速ニ送道ヲ謀ナシハ則チ將ニ英不數國ノ為ニ
我カ民ヲ敲ラントス豈元^{カラスヤ}然^ハ則チ送道講^{セラル}ハ
カラス今彼ノ送スル所以我ノ劣スル所以者ヲ考フルニ他ナシ
賦歛ノ輕ト重ト由ルナリ皇國ノ古昔唯唐土ニ韓天竺
等數國アルヲ知レル^ニ而シテ唐最モ盛大ナリ然レニ唐民
ニ取ルヤ其割ヲ以テ皇國ノ古制ニ較スレハ實ニ重シ彼ノ土

ニ代ノ盛ナル後世ノ能ク及ブ所ニ非スト為ス所ノ者ト云
凡其民衣ルノ法皆ナクナリ其後世推テ知ルヘキナリ
唐土猶然リ況ヤ三韓天竺等ニ於テヤ抑リ而シテ
皇國此時制實ニ十分ニテ一ヲ取リ水旱疾疫猶
必ス其稅ヲ緩フス鳴呼其民於テ何ソ其厚キヤ之外
邦ニ較スル如何ヤ抑レハ則チ此時ニ當リ民皇國ヨリ
送スル者ナキ知ルヘキナリ其功ヲ民ニ施シ善ヲ積ム何ヲ以テカ
之ニ加シ易ニ白シ善ヲ積ム衆ニ必ス餘慶アリ是故ニ

後世至リ時ニ汗隆ナキ能ス皇氏德澤ノ民心ニ
在者磨滅可ス天位ノ隆天限りナシ万世ヲ直テ動
カレ所者ハ則チ孟子所謂民ヲ保テ王タラ之ヲ
能シ禦シククナキ者ニ非スヤ何ソ其レ盛タルヤ方今歐羅
巴各國ノ民ニ取ルヤ其地稅ニ五分ニテ取ルニ準
校會院等ノ費ヲ課シ概スルニ十分ニテ取ルニ準
ニルト云フ我ハ則チ皇國ノ古制ト符節ヲ合セタル
カ如シ其ノ富強ヲ致ス一亦宜ハナスヤ抑リ而シテ今

皇國ノ制タルニテ之ヲ取ル之ヲ古制ニ較スル如何ヤ
甚ト謂スレ此ノ如ニテ止マスハ百姓往々彼ノ制ヲ曉リ
彼ノ安送ヲ知リ必ス彼ヲ羨ム心ヲ生セニ此時當リ已
今得サル一ヨハテ兵端ヲ開キ彼若シ民ヲ救論ハ俚
以テ我カ勞シ且ツ其窮スルノ民ヲ誘スル一ハ則チ幾何
カ印度ノ英吉利ニ於ケルカ如ク尊食空聚ノ勢カニ
至ニテチラニ戒メサルハケニヤ且其民ニ取ル益ニ重ケルハ則チ
民益ハ窮ス民益ハ其窮スレハ則チ國何ヲ以テ窮セザラン

是其歛益重クテ用益定ムル所以者ナリ昔シ
哀公有若問曰年饑テ用不足之ヲ何レ有若
對曰盍ソ徹セザルニニミテ吾猶足ラス之ヲ何レ其
徹セ對曰百姓足ラハ君孰ト患ニカ足ラサレ百姓足
ラスハ君孰ト患ニカ足ラント誠ニ此言ヲ味フレハ則テ輕ク
民ニ取ルハ時其用ヲ欠クカ如下民屬國ノ基定之
由テ生ル理ヲ曉ルヘシ是故管子云ヘルアリ曰豊
ノ取ルタルヲ知ルハ政ノ室ナリト然レハ則テ皇國ノ古制間

然スルナキ者謂フスシ若シ能ク此ノ制ニ復シ業ヲ民
ニ託シ家産ヲ固クスルノ制ヲ立テ斷然旧來ノ弊ヲ除
キ半分ニシテ一ヲ取ルノ法ヲ行ハハ則テ功德ヲ民ニ施シ
テ餘慶ヲ後昆ニ遺シ鴻業ヲ無窮ニ垂ルノ何ヲスレカ
之加ヘシ其勉メカルヘケヤ今依テ地稅ノ法ヲ在ニテ
一者年御調本國ニ要ス青格石七斗免高
平均五分五厘八毫本國分取リ付石盛九ツ七分三厘
三毫本國分取リ付石盛九ツ七分三厘

壹方五音辛九石二斗五升

一 同新田地拾七方四斗九百五十五石五斗九厘高一分二分
五厘新田四畝一分石盛五十分七厘五毫四絲九
方四斗拾八石余此八十分一稅米四斗五音一石九斗
二廉合稅米壹方五音辛九石二斗五升

但此外復知領地等ノ稅アリト知スレ

右ノ地稅法ノ大畧各ナリ人其地稅減スル世ノ如キ見レハ
必國用足ラスト云ハシ攷リト居凡變ニ足ラサル理ナシ

何トナレバ則チ祿代ルニ產地ヨシテセハ則チ祿ヲ取ル者
スモナク唯々官吏及ヒ吾隊ノ月俸等ヲ給スルノ
吏此ノ如クナレバ則チ才一出納ノ方ヲ省キ其ノ餘事ヲ
省クノ數ヲニ勝テ可ラス己ニ專ラ省ケハ則チ官ラ省ク
得レナリ己ニ官ラ省ケハ則チ加費自ラ除ス誠ニ此ノ如ク
ナレバ則チ人ニ依リ生ラ成ル者自ラ省ケラス人々自ラ生ラ
當ハ則チ國産ノ生スル一必ス増加スヘシ國産増加スレハ
則チ國ノ富ナリ且ツ地稅外港運上國內產物ノ稅

官許運上調印稅家業稅寺諸稅此諸法
歐米諸法歐米諸國已成法アリ漸々之ヲ行へハ
則チ政府ノ富ヲ致ス一疑ヒナレ豈今自比ナラシヤ若シ
少諸法行ハント欲セハ唯々其ノ民ニ取ル法ヲ分外ニ
ヨリ重カラサシムルヲ要スルノコト

辛未八月百建言書

伏シテ惟ミ今般藩ヲ廢シ縣ト冗ヲ簡ニ就キ
内以テ萬民ヲ保護シ外以テ萬國ト對峙スル御基礎
トシテ諸事御改革相成候趨実天下萬民ノ幸福
信ヲ以テカ之ニ加ヘシ宜ク感泣并舞シ以テ天恩ヲ奉戴
スキモヤリ然ルニ復古ノ集今自至ル迄今出ル毎ニ
愛恤ヲ先ニ公道ニ依ラルヲサシ其实效ニ顯ル所ノ
者モ亦天下偏重ノ弊ナカラシメル冗費ヲ省キ仁道ヲ

施ス本ミテ全ク言行相齟齬スルナシト虽凡日其
見所者所聞ラ廢レ禄ヲ削リ屋税ヲ課スル等ニ
仁政実未タ之ヲ見ルニ至ラス是ヲ以テ士民徃々朝
野ノ御深意ヲ愉ルテ能ハス大疑惑ヲ成ル或ハ之ヲ
誹謗シテ取得イノ御政事ト云セ僻遠ノ愚民ニ
至テ其所聞ク廢セラルヲ見テ其御趣旨專ラ下
民ヲ救フニ在ル御仁意ヲ認ムルテ能ハス却テ相恐懼
シ上久猶此ノ如シ況ヤ我等下輩ニ於テラヤト曰ミ

至リ安堵ノ息成サル者不鮮憐ムヘキ者ト云フヘシ
且ツ士族者ニ至ッテ其禄ヲ削ラレ不平ノ心ヲ生シ
猶其削ラレノ止マズシテ終ニ其禄ノ足ルニ至ルヲ恐レ
乱ヲ思フ徒モ亦多クハレ若シ此ノ時ニ乘リ不逞徒
恣ニ民ヲ煽動シ或ハ地ヲ割キ外援ヲ求ムル等石敬
瑭カ故智ヲ用サル者アレハ則チ其害ヲ成サルト期ス
可ス殆ト土崩ノ勢ニ至ラントモ亦計ル可ス慎
マサル可ケンヤ苟モ是ノ害ヲ除カント欲セバ禄ヲ廢シ

家産ニ換ヘ永世不抜ノ者リナレ
大ニ民心ヲ安堵ナリ
シムルヨリ善キハナレ且ツ國ノ品行ハ民ノ品行ニ依ル故ニ
國ノ品行ヲ宜クセント欲セハ民ノ産ヲ大ニスルヨリ要ナルハナレ
減産巴ニ大ナレハ則チ恒ノ心油枯トシテ生シムルカ
訓導ニ知識ヲ磨カシムルニ至ルヘシ誠ニ世如クナレハ則
チ民ノ品行大ニナリ文明ノ礎コニ於テ立ツ故ニ民
産ハ之ヲ大ニサレ可ラス且又當時士族文武ノ常職
ヲ解キ兵ヲ民ニ取ルノ事トナレハ則チ民十年後ニ

至テハ兵ヲ知ラサル者ナクニテ平民ノ權自尠ニ其強
ヲ増シ藩ヲ廢シ縣トナシ務メテ官負ク者ニ至ツテハ
政府ノ威ヲ以テ民ヲ壓制スル權自カラ減シテ小吏
民ヲ虐ムル弊ヲ去リ文明ノ治コニ於テ見ルルニ
豈ニ美事トナラスヤ抑ト是尾利ノ起ル所害モ亦多ク必
從フ故ニ能ク其害ヲ察シ早ク之カ所ヲナセハ則チ國
家盤石ヨリ安ク之カ所ヲナサレハ則チ國家豊明
ヨリ危シ強クハ則チ其害察セスニハアルヘカラス其害々

ル所ノ者ハ何ヤ同シ民権已ニ強ク政府ノ權漸ク
減スレハ則チ税法ヲ變ヒテ之ヲ輕クセスハルハ何トモハ
則チ皇國ノ昔昔兵ヲ民ニ取ルヤ其時ノ制實ニ十分ニ
シテ一ヲ取り且ツ方今西洋諸國ノ制タル其地稅概テ
非ノ如シト云フ然リ而シテ今皇國ノ制タルハ是レ
取ル其レト云フスレ然リト居尼民其制服スル所者ハ
他ニ政府ノ權大ニ強ク民ノ權大ニ弱クハナリ故ニ兵
民ニ取り民権已ニ強クシテ實今ノ税法ヲ改メスハ則チ民

其稅ノ重キト西洋諸國其民ナク且ツ皇國ノ古制ニ
違フニ其レキヲ知レハ則チ必ス物議ヲ生シ輕テ是稅ヲ納
ムルニ至リ其勢ヒ將ニ制ス可ラスニ至ラントス恐レハルヘシ
ヤ故ニ税法モ亦大ニ之ヲ改メスハル可ラス抑ハ則チ非ノ
ニ者ハ實今ノ急務ニシテ早ク之ヲ施スル事ヲ急ムハル
可ラス抑ハト居尼國家旧来ノ餘弊ヲ受テ内外國債
其ノ員已ニ多ク加之百歳及創造際其費モ亦不鮮故
ニ其術ヲ得スレテ世ニ之者ヲ行ヒト欲セハ政府ト其

用ラズキ其費ヲ支ル^テ能ハル^ニ至ラントス然レハ則チ其術
ホズシハアル可ラス今其ノ禄ヲ替ル^ニ産ヲ以テシ大ニ税法ヲ改シ
民産ヲ大ニル^ル術ヲ求メ公私共益ノ策ヲ立ツル^ル左ノ如シ

一 禄ヲ廢シ家産トナシ每人^ノ家産券ヲ與^テ賣買ヲ許
シ且ツ賣渡ス^ル心税ト切替度願^フ者ハ之ヲ免許ス
ヘシ

但家産ハ永世其有^ルトナシ仮令^テ罪アリ^トモ容易^ニ勿^クシテ
沒收ス可ラス且ツ賣買ノ節ハ官府ノ調印ヲ請^ヒ

以テ其約ヲ堅クセシムヘシ

一 一般ノ家産^ハ家産券及ヒ^テ加治子寺^等一切^ノ二十五分^ノ税ヲ課スヘシ

但從來地方^ノ掛ル雜税^ハ之ヲ除クヘシ且賣稅代

金ヲ以テ學校^等ノ基礎^ヲ立テ^テ二十^年後^ニ至^リ

學校^ハ民費タル^ノ理ヲ以テ更^ニ學校^ノ入費^ヲ課

シ概^ニ子^ニ十分^ノ制^ニ致スヘシ

一 地方^ノ心税^毎村^ニ縮^ムニ十分^ノ年々^々十分^ノ定^式價

ヲ定^メ入札^ヲ以テ萬民^ノ家産^ヲ賣渡スヘシ

右ノ法ヲ行ハル則チ左ノ算ニ成ル

一 凡ノ地 千石

正税米 一千二百石也

四成ラハ

肉 二百石

家産券切替ノ宛

残 一十石也

代金 五万両也

石ニ付 五兩ノ倍
金 五万両ヲ以

右ニテ 割リ 米 千石ノ左ノ如シ

米 五十万石也

代金 二千五百万両也

右ノ通りニテ 正税米 千石ノ減スニ從ヒ 公費ヲ省キ 冗

官ヲ汰シ 漸々 千石ノ後ニ至リ 千五百石

及ヒ 諸運上 等ニテ 諸費 充分 相弁スル 公算 相立

ツシ

一 賣稅 望ニ 鮮ニ 其ノ 歳分 賣渡ニ 相濟マカル 分ニ

テ 次年 へ 送ル へシ

但 望ノ 者 鮮ニ 且 屢 汲々 賣ニ 下ラ 来ル 可ラス 靜

以テ之ヲ待ツニ信義顯ハルニ從ヒ其増ス一疑ナクヘシ
一賣稅代金ハ他金ニ混セサル様ヲ取縮メ大藏省人
納メシムヘシ

但此ノ金ハ公債ヲ拂ヒ且後世ノ利益ヲ開ク等

ニ用ユヘシ

一稅買受ルル屋戸全ク其ノ地ヲ有スル非ス從テ加治子取
ノ者ト令有ノ者トスニ稅加治子併有ノ後全ク其地ヲ
有スルノ權アルヘシ

一荒地開發望ノ者ハ相應價ヲ以テ賣渡シ年限ヲ定メ
開發ヲ成サシメ成就後ニ五分ノ稅ヲ課スルニ法ヲ
一政府ヨリ貧民等ヲ以テ開發ヲ成サシムル者ハ成就後改
府地トシ先ツ當今ノ法ヲ以テ稅ヲ課シ漸ク以テ賣
渡シ般ノ法ニ致スヘシ

右ハ其ノ大略ナリ之ヲ實地ニ施スニ至ツテハ猶衆議ヲ以テ
務メテ人精ニ適スルヲ要スヘシ且ツ皇國今時ノ制ヲ以テ
之ヲ考レハ則チ國內地ヲ奉テ之ヲ官地トナシ民ヲ以テ

之ヲ耕サシムルノ体裁ニシテ民ノ産タル所謂加治子タル者アリ
リ馬尼其ノ數甚多微ナリ故ニ皇國ノ民タル者之ヲ要スル猶
魯西亞ノ莊僕ノ類ノ如シ是ヲ以テ國ヲ保護スル權政
府專ラ之ニ任シ國ノ得失民其ノ間ニ關セラル者ノ如シ
其可クシカ且又英國等ノ制ヲ按スル則チ關國地ヲ以テ
之ヲ民ニ附與シ僅ニ三五分一稅ヲ課スルハ則チ國地ヲ
奪テ之ヲ民地トナスノ体ナリ故ニ其地ヲ以テ富ヲ致ス者
居多ナリ其產已ニ大ナルハ則チ其產ヲ保護スルノ心必

厚クシテ報國ノ心自カラ深シ是レ則チ國ノ隆替民ト之ニ
由リ國ヲ保護スルノ權民ト之ニ任スル者ナリ近來魯西亞ノ
莊僕ヲ廢セシ者ハ蓋シ之レ等ノ為メナル也ハ則チ
彼此ノ優劣甚タ明ナリ右ノ策ノ如キハ則チ官地ヲ變
シテ民地トナシ報國ノ心ヲ以テ自カラ深カラシム所以者ナリ
希ク斷絶之ヲ用ヒ給フテ之ヲ覆切至リニ堪ヘサルナリ

辛未八月二日



大
第
一
冊